

第八期組踊（立方・地方）研修生募集要項

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

組踊の後継者を養成するため、公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団は、将来舞台で活躍する志をもつ組踊（立方・地方）研修生を募集します。

- 1 募集分野 組踊の立方及び地方（歌三線、箏）
- 2 募集人員 若干名
- 3 応募資格（１）沖縄伝統芸能に関する素養を有する者
（２）中学校卒業（卒業見込みを含む）以上で原則として３０歳未満（令和８年３月３１日現在）の男子
（３）その他、公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団が特に適当と認めた者
- 4 募集期間 令和７年８月１日（金）～令和７年９月３０日（火）
- 5 選考方法 実技試験と面接
- 6 選考者 第七期組踊研修講師、学識経験者、一般社団法人伝統組踊保存会、公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
- 7 選考日 令和７年１１月８日（土）・９日（日）
- 8 選考場所 国立劇場おきなわ
- 9 研修期間 令和８年４月～令和１１年３月（３年間）
- 10 研修時間 原則として月曜日から木曜日までの週４日
午後６時３０分～午後９時４５分
- 11 研修場所 国立劇場おきなわ 養成研修室等
- 12 研修内容（１）組踊実技 「執心鐘入」、「二童敵討」、「孝行の巻」、「銘苅子」、「女物狂」、「花売の縁」
（２）副実技 琉球舞踊、歌三線、箏、笛、胡弓、太鼓
（３）基礎実技 発声訓練、身体訓練、作法、舞台扮装
（４）講義 琉球古典語基礎、詞章研究、演劇舞踊論、琉球音楽論
琉球芸能史、日本芸能史、演技演出論
（５）実習ほか 研修発表会、公演鑑賞、組踊史跡見学、地域芸能鑑賞、歌舞伎・能・文楽鑑賞等
- 13 適性審査 研修開始後６ヶ月以内に適性審査を実施し、正式に合格者を決定します。不合格となった者は、研修生の資格を失います。
- 14 受講料 無料
- 15 その他 適性審査に合格した者は、伝統芸能奨励費貸与制度が活用できます。

【実技試験内容】(予定)

(別添)

(1) 立方志願者

ア 琉球舞踊 「上り口説」、「かせかけ」

イ 初見視唱 (組踊「執心鐘入」から抜粋)

※ アで使用する曲は、受験生により流派を選択できる。

※ イは試験当日に例示する組踊の台詞を聞き、模倣して唱える。

(2) 歌三線志願者

ア 指定曲 「かぎやで風節」

イ 選択曲 「干瀬節」、「子持節」 2曲のうち1曲を選択する。

※ 歌詞は、本歌。

※ 演奏時の調弦は、Cとする。

(3) 箏志願者

ア 指定曲 「金武節」

イ 選択曲 「瀧落菅攪」、「地菅攪」 2曲のうち1曲を選択する。

※ 歌詞は、本歌。

※ 演奏時の調弦は、Cとする。

※ 前記(2) 歌三線の歌詞

○ かぎやで風節

【歌詞】

今日のほこらしやや
なをにぎやなたてる
つぼでをるはなの
つゆきやたごと

1. 干瀬節

【歌詞】

里とめばのよで
いやで言ゆめおやど
冬の夜のよすが
互に語やべら

2. 子持節

【歌詞】

誰ようらめとて
泣きゆが浜千鳥
逢はぬつれなさや
わ身もともに

※ 前記（3）箏の歌詞

○ 金武節

【歌詞】

こばやきんこばに
竹やあふそだけ
やねやしらかきに
はりやおんな